



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイメタルテクノロジー  
コード番号 5605 URL <http://www.imetal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大岡 信一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 齋藤 誠

TEL 029-831-1791

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,770	6.8	423	△59.7	385	△56.9	64	△86.5
23年3月期第2四半期	23,194	95.4	1,050	—	895	—	474	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △23百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 386百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.43	—
23年3月期第2四半期	10.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	47,624		19,211			40.3
23年3月期	45,463		19,369			42.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,211百万円 23年3月期 19,369百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,800	13.8	1,650	△18.4	1,500	△14.3	720	7.2	16.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	45,000,000 株	23年3月期	45,000,000 株
24年3月期2Q	161,694 株	23年3月期	160,253 株
24年3月期2Q	44,838,907 株	23年3月期2Q	44,841,209 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料P. 3[連結業績予想に関する定性的情報]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響により、企業生産は一時大きく悪化したものの、サプライチェーンの復旧など社会的復興に伴い生産や輸出、個人消費に回復が見られ、全体として景気は持ち直し傾向で推移いたしました。

また、海外経済は、中国を中心としたアジア経済で景気が拡大しているものの、欧米経済では回復力が弱く、全体としては緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような経済情勢の下、当社グループの得意先であるトラック業界は、国内では復興による需要の急増、海外ではアジアをはじめとする新興国・資源国市場の需要拡大により好調に推移いたしました。

また、建設機械業界におきましては、国内では復興による需要の急増、海外では中国市場の需要に鈍化が見られるものの、その他新興国市場の需要増加等により、全体として需要は底堅く推移いたしました。

こうした環境の中、サプライチェーンの障害や余震の影響により4月の生産状況は前年同月比7割程度にとどまりました。5月以降は得意先からの受注量が大幅に増加し、生産設備の稼働率向上、生産能力の増強などの対応策を講じてまいりました。また、自動車および建設機械用部品の新規受注品の生産設備ならびに高圧受電設備の更新など将来に向けての設備投資を実施したほか、今夏は稼働体制を変更し、夏季節電要請に対応してまいりました。

この結果、売上高は247億70百万円（前年同四半期231億94百万円の6.8%増）となりました。

損益面におきましては、東日本大震災により影響を受けた設備は早急に復旧させたものの、その後の生産活動の復元過程でロスが生じたことにより、営業利益は4億23百万円（前年同四半期10億50百万円の59.7%減）、経常利益は3億85百万円（前年同四半期8億95百万円の56.9%減）となりました。これに4月に発生した余震による工場復旧費用等、災害による損失1億18百万円、退職給付制度改定損1億79百万円を特別損失へ計上し、税金費用を控除した結果、四半期純利益は64百万円（前年同四半期4億74百万円の86.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

#### (a) 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は162億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億19百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が31億49百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は313億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億57百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が12億28百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、476億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億61百万円増加いたしました。

#### (b) 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は165億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億59百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が15億70百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は119億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億60百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が2億59百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、284億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億20百万円増加いたしました。

#### (c) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は192億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益64百万円および剰余金の配当1億34百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.3%（前連結会計年度末は42.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益及び当期純利益において、前回予想を下回る見通しとなりました。これは、第2四半期累計期間に発生した東日本大震災による減益影響を、通期で挽回することが困難であると予想されるためであります。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 平成23年8月9日	52,400	2,100	1,900	1,000	22.30
今回修正予想 (B)	52,800	1,650	1,500	720	16.06
増減額 (B-A)	400	△450	△400	△280	—
増減率 (%)	0.8%	△21.4%	△21.1%	△28.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	46,391	2,022	1,750	671	14.98

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法をとっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,680,284	2,577,450
受取手形及び売掛金	6,245,664	9,394,874
製品	1,041,838	1,209,815
仕掛品	328,597	534,146
原材料及び貯蔵品	1,228,278	1,278,571
その他	1,521,337	1,270,444
貸倒引当金	△2,088	△2,297
流動資産合計	13,043,911	16,263,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,052,007	11,669,698
機械装置及び運搬具(純額)	11,173,243	10,194,144
土地	6,592,884	6,592,884
その他(純額)	1,144,811	1,277,979
有形固定資産合計	30,962,946	29,734,707
無形固定資産	25,834	225,625
投資その他の資産		
投資有価証券	1,227,951	1,158,519
その他	205,222	245,711
貸倒引当金	△2,600	△2,600
投資その他の資産合計	1,430,574	1,401,631
固定資産合計	32,419,356	31,361,964
資産合計	45,463,268	47,624,970
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,620,226	7,190,967
短期借入金	5,716,280	5,643,840
未払法人税等	63,578	53,135
その他	3,148,988	3,620,690
流動負債合計	14,549,073	16,508,632
固定負債		
長期借入金	8,564,000	8,823,000
退職給付引当金	386,523	504,852
環境対策引当金	475,861	475,861
その他	2,117,842	2,101,465
固定負債合計	11,544,227	11,905,179
負債合計	26,093,301	28,413,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,480,000	1,480,000
資本剰余金	9,510,553	9,510,553
利益剰余金	6,780,826	6,710,145
自己株式	△18,730	△18,990
株主資本合計	17,752,648	17,681,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,058	12,863
繰延ヘッジ損益	△31,317	△19,130
土地再評価差額金	1,840,722	1,840,722
為替換算調整勘定	△227,145	△305,005
その他の包括利益累計額合計	1,617,317	1,529,450
純資産合計	19,369,966	19,211,158
負債純資産合計	45,463,268	47,624,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	23,194,738	24,770,556
売上原価	20,863,292	22,556,374
売上総利益	2,331,446	2,214,181
販売費及び一般管理費	1,281,119	1,790,952
営業利益	1,050,327	423,228
営業外収益		
受取利息	479	279
受取配当金	21,528	6,426
固定資産賃貸料	25,338	34,139
受取ロイヤリティー	14,694	11,106
持分法による投資利益	17,440	27,946
助成金収入	—	40,481
その他	16,703	24,004
営業外収益合計	96,185	144,385
営業外費用		
支払利息	166,563	115,260
シンジケートローン手数料	41,508	13,250
その他	43,349	53,174
営業外費用合計	251,421	181,685
経常利益	895,091	385,927
特別利益		
投資有価証券売却益	35,510	—
特別利益合計	35,510	—
特別損失		
固定資産除却損	8,253	559
減損損失	133,372	—
災害による損失	—	118,840
退職給付制度改定損	—	179,412
特別損失合計	141,625	298,812
税金等調整前四半期純利益	788,976	87,115
法人税等	314,120	22,880
少数株主損益調整前四半期純利益	474,856	64,234
四半期純利益	474,856	64,234



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	474,856	64,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,965	△22,195
繰延ヘッジ損益	8,580	12,186
為替換算調整勘定	△72,057	△77,859
その他の包括利益合計	△88,442	△87,867
四半期包括利益	386,413	△23,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,413	△23,632

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、自動車用等関連部品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。